



— 感謝の心 —

看護部長 土屋祐子

先日、何気なくラジオを聞いていると、『主人と二人（たぶん高齢なご夫婦）で出かけた帰りに、大変混み合った電車の中で、つり革につかまり立っていると、目の前の初老のご夫婦がサッと立ち上り席を譲ってくれた。有り難く座らせていただいた。その直後、隣にいたスーツ姿の若い青年が笑顔で“どうぞ”とその人に席を譲ってくれた。その笑顔のすがすがしさに、“ホッ”として幸せな気持ちになった。』という内容でした。私は、この話を聞いただけで癒され、人は些細な事で幸せを感じられるのだと改めて感じる事が出来ました。

看護部の掲げる理念は、「笑顔と親切 感謝の心で 人に信頼される看護を提供する」で、これは何年も変わっておりません。当院の看護師もこの青年のように、心穏やかで、自然に、常に心配りの出来る人に育って欲しい。そして、患者さんが、癒され「碓氷病院にかかって良かった。入院して良かった。」と喜んでいただけるような看護を提供したいと思い、看護研修にも取り組んでおります。



当院は地域の自治体病院で、一般病棟・地域包括ケア病床（3階病棟に17床）・療養病棟・通所リハビリ・訪問看護ステーション・居宅支援事業所と、急性期から慢性期・在宅まで幅広い分野を担当しております。平成25年に大規模改修工事が終了し、電子カルテも導入となり、設備環境も大変良くなりました。今後は、関係職種との連携をより一層強化し、地域住民の健康を守り、必要な医療・看護・介護を提供し、その役割を果たせるよう努力してまいります。

私事で恐縮ですが、昭和60年に当院に就職いたしました。職員の大半は地元出身で、家庭的な雰囲気の中でとても働きやすく、また、他部署とも関係性も良好で、協力体制が取れています。上司や同僚にも恵まれ長年勤務し、そろそろ定年を迎える年になりますが、この病院で地域医療に携わることができて、本当に良かったと思います。

地域連携係



医事課地域連携係では公立病院としての役割を果たすため、地域医療機関の先生方、保健、福祉、介護事業所の方と連携を図り、良質で安全かつ安心できる医療を適切に提供するための窓口として業務を行っております。

具体的な業務としては、地域医療機関からの紹介患者さまをスムーズにお受け入れするための調整や、当院にある高額機器（MRI・CT等）を有効活用し、地域医療機関の診断業務のお手伝いをさせていただ

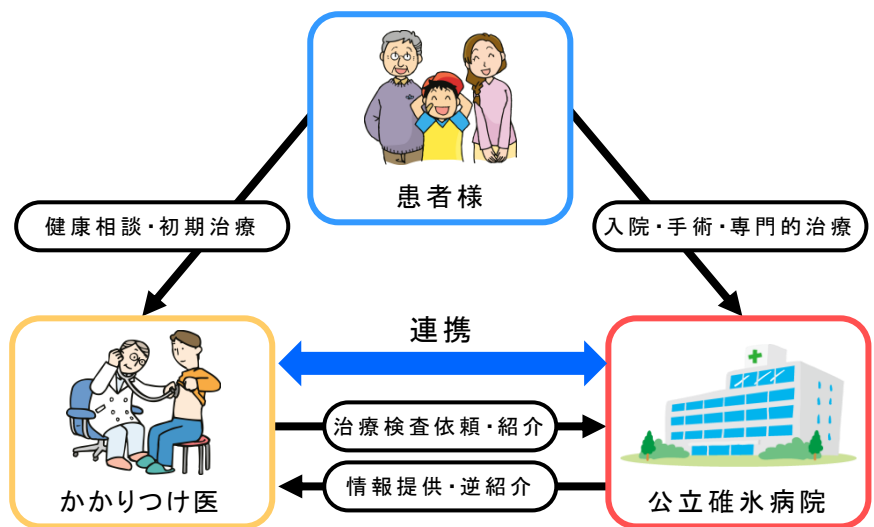
いただくため検査予約を行っております。

在籍するソーシャルワーカーが外来通院中、入院中の患者さまやご家族からの医療的・社会的・経済的問題へのご相談に応じ、問題解決への助言・調整を行い、安心して療養生活が過ごせるよう支援をしております。高齢化の進展に伴って疾病構造が変化していく中、「治す医療」だけでなく「治し支える医療」が大切となっていきます。医療や介護が必要な状態になってもできる限り住み慣れた地域での生活を継続するために必要に応じて退院調整を行い、地域医療機関や保健、福祉、介護事業所と連携を図り、在宅療養や転院に向け、切れ目のない医療サービスの提供ができるよう取り組んでおります。

平成26年12月から入院患者様の退院支援として3階病棟に地域包括ケア病床を始めました。地域包括ケア病室とは入院治療後、病状が安定した患者様に対して、退院支援を目的とし、国から認可を受けた「在宅復帰支援のための病室」です。病気や怪我をされたことにより、体力・活動の低下をきたした患者様の個々の

ペースに合わせて、心身が回復するよう医師や看護師、理学療法士等により、在宅復帰に向けゆとりのある治療を行っております。また、ソーシャルワーカーや病棟看護師による退院後のケアや介護サービスの調整などのサポートも行っております。

地域連携係の担当はソーシャルワーカーの神戸と事務員の高橋になりますので、何かご相談がございましたらお気軽にお声掛け下さい。



相談受付時間

月曜日～金曜日 8:30～17:15

介護保険を利用できる人は？

◆65歳以上の方（第1号被保険者）

- ・家事や身支度に支援が必要になった。
- ・寝たきりや、認知症で常に介護が必要になった。

◆40～64歳までの医療保険加入の方（第2号被保険者）

- ・初老期の認知症など国が定める16種類の病気が原因で介護や支援が必要となった。



介護保険を利用するには 申請が必要です

①申請

各市町村担当窓口で行います。

申請に必要な物

- ・介護保険証（65歳以上の方）
- ・健康保険証（40～64歳の方）



②訪問調査

認定調査員が入院中の施設や自宅など生活場所へ訪問し、心身の状態や生活状況、介護の様子を聞き取りします。



③主治医の意見書

各市町村からの依頼により主治医の先生が意見書を作成します。

一次判定

調査結果や主治医の意見書の一部の項目をコンピューターに入力し、判定を行います。

二次判定

一次判定や主治医の意見書などをもとに、保健・医療・福祉の専門家が審査を行います。



④結果の通知

要介護1～5 介護サービス

（居宅サービス、施設サービスが利用できます。）

要支援1・2 介護予防サービス

（地域包括支援センターへ問い合わせてください。）

非該当(自立) 地域支援事業が利用できます。

（地域包括支援センターへ問い合わせてください。）



1. 筋萎縮性側索硬化症 きんいしゆくせいそくさくこうかしょう
2. 後縦靭帯骨化症 こうじゅうじんたいこっかしょう
3. 骨折を伴う骨粗しょう症
4. 多系統萎縮症
[シャイ・ドレーガー症候群・オリーブ橋小脳萎縮症・線条体黒質変性症]
5. 初老期の認知症
[アルツハイマー病・脳血管性認知症等]
6. 脊髄小脳変性症 せきずいしょうのうへんせいししょう
7. 脊柱管狭窄症 せきちゅうかんきょうさくししょう
8. 早老症 [ウェルナー症候群]
9. 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症
10. 脳血管性疾患 [脳出血・脳梗塞等]
11. パーキンソン病関連疾患
12. 閉塞性動脈硬化症 へいそくせいどうみやくこうかしょう
13. 関節リウマチ
14. 慢性閉塞性肺疾患
[肺気腫・慢性気管支炎・気管支喘息等]
15. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節
16. がん末期

⑤サービス利用

居宅サービス

（自宅でサービスを受ける。）
ケアマネジャー、地域包括支援センターに依頼、相談。
サービスを決定し、利用していきます。



施設サービス

（施設に入所しサービスを受ける。）
入所の申し込みを行い、空き状況に合わせて入所しサービスを受けていきます。
※施設によっては待機者が多く、すぐに入所できない場合もあります。



通所リハビリテーション「そよかぜ」

通所リハビリテーション「そよかぜ」は、介護保険にて要支援・要介護と認定された方が利用できる通所型（自宅からの通い型）施設です。

医師を初めとした医療・介護専門職による管理のもと、サービス利用者が住み慣れた自宅でする限り自立した日常生活・社会参加を送ることを目標として支援を行っています。



サービス内容

- ・自宅⇄施設の送迎サービス（施設送迎ではなく家族での送迎も可能です。）
- ・看護師による健康状態の確認
- ・介護スタッフによる移動・食事・入浴・排泄介助等の生活動作支援
- ・理学療法士等のリハビリ専門職による機能訓練、生活動作練習、自宅での生活状況の確認・環境調整・指導
- ・昼食の提供（きざみ食や一口大食などの各食形態に対応）
- ・カラオケ等のレクリエーション
- ・担当ケアマネジャーとの連絡・調整



利用者例

- ・自宅での入浴や排せつなどの日常生活動作が困難な方
- ・家族の仕事等により日中の独居生活に不安のある方
- ・体力や筋力の低下により歩行が不安定な方
- ・認知症等で家族のみの支援では介護負担が大きい方
- ・医療保険でのリハビリを期限で終了したが状態改善の可能性や能力維持の必要性がある方



※詳細や見学希望等は直接連絡いただくか、担当ケアマネジャーへお尋ねください。

内科の午後の診察を始めました！

今まで内科の午後の診察は特殊外来と急患のみの対応でしたが、**平成28年10月4日より一般外来の診察**も行っておりますのでご利用ください。

(平成28年10月4日現在)

		月	火	水	木	金	
内科	午前	新患	塩野 由紀	秋葉 徹	金谷 秀平	唐澤 正光	松本 久美子
		再来	松本 久美子 阿部 智志	唐澤 正光 塩野 由紀	阿部 智志 野際 英司	秋葉 徹 野際 英司	河村 俊英 吉田 泉
	午後	一般	秋葉 徹	河村 俊英	原田 文子	阿部 智志	原田 文子
		特殊	諏訪 絢也 (腎・膠原・リウマチ)	阿部 智志 (心臓)	唐澤 正光 (血液)	河村・塩野 (血液)	原田 文子 (糖尿病)
				櫻井 篤志 ※1 (神経内科) 第3週のみ	松本 久美子 (血液)	池内 秀和 (腎臓・リウマチ) 第2・4週	内山 和彦 (腎臓)
	透析	午前	吉田(諏訪)	吉田 泉	吉田 泉	吉田 泉	内山 和彦
		午後	吉田 泉 (諏訪 絢也)	吉田 泉	吉田(第2・4・5) 竹内(第1・3)	吉田 泉	吉田 泉
小児科	午前	田島 公夫	田島 公夫	田島 公夫	田島 公夫	田島 公夫	
	午後	田島 公夫	田島 公夫	田島 公夫	—	田島 公夫	
外科	午前	一般	中村 正治	大木 孝	大木 孝	中村・大木	中村 正治
		消化器	中村 正治	大木 孝	大木 孝	中村・大木	中村 正治
	午後	乳腺・甲状腺	吉田 美穂	堀口(第1・3週) 時庭(第2・4週)			
		特殊		大木・中村 (胃・大腸)			
整形外科	午前	園田 裕之		橋本 章吾 ※2	田鹿 毅		
	午後				田鹿 毅 ※3		
眼科(午前)			非常勤			非常勤 (第4週のみ)	
耳鼻咽喉科(午前)		馬場 隆			馬場 隆		
泌尿器科	午前					宮尾 武士	
	午後					宮尾 武士	
皮膚科	午前		土岐 清香 ※4				
	午後					上原 顕仁	
歯科口腔外科		葦沢 健	岩橋 由佳子	葦沢・岩橋	葦沢 健	嶋田・葦沢・岩橋	

- 毎月最初の受診の際は必ず保険証の提示をお願いします。
- 受付時間は 8:30~11:30、13:30~16:30 (一部例外あり)
- 休診日は土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12/29~1/3)
- 透析は土曜日、祝祭日も行っています。
- 内科、外科の特殊は専門医による外来です。事前に一般外来の受診が必要です。
- ※1 神経内科は完全予約制となります。受診希望は事前の連絡をお願いします。
- ※2 水曜日の整形外科の診察は9:30からです。
- ※3 木曜日の整形外科の予約以外の方の受付は15:30までです。
- ※4 火曜日の皮膚科の診察は9:30からです。

患者サポート窓口開設！

NEW

当院では、平成28年9月1日より患者様、ご家族様からの疾病に関する質問や生活上及び入院上の不安等、様々な相談をお伺いする窓口を、正面玄関会計窓口右側に設置しています。

窓口では、担当の看護師等が、患者様が日頃から抱えている不安にたいして、医療従事者として相談をお伺いし、安心して治療が受けられるようにお手伝いさせていただきます。また、内容により介護部門、薬剤部門等の専門の担当者と協力して支援を継続し、不安が解消できるよう取り組んでいます。



例えば、

- ・高額療養費、指定難病、介護など医療や福祉の保険制度について
- ・福祉施設について
- ・訪問看護など在宅医療について
- ・入院中の食事など栄養について
- ・院内の設備について

など、患者様、ご家族様等で何かご質問やご相談がございましたら、窓口へお気軽にお声掛けください。

相談対応時間

8時30分から17時15分 月曜日から金曜日(祝日及び年末年始を除く)

インフルエンザ予防接種のご案内



【大人の方】

▼予約受付：10月初旬より受付開始。正面受付またはお電話にて予約をお取りください。

▼接種期間：平成28年10月17日(月)～平成29年1月31日(火)

※祝祭日前日、祝祭日、年末年始を除きます。

※ワクチンが終わり次第終了になります。

	月	火	水	木	金
午前	—	—	—	—	—
午後	○	○	○	○	—

※小児(中学生以下)の方は受付・予約が異なりますので、小児科外来へお問い合わせください。

※費用等、詳しい内容については、当院受付、もしくはお電話にてお問い合わせください。

編集
後記



今年の夏は暑く、夕立の少ない夏でした。冬は雪国で雪が少なく、春は雨が少ないなど水不足を心配していると、8月終わりには台風が続けて発生するなど異常気象が続き農作物の被害も出ています。また、気温の変化も大きく体調を崩す方も多かったと思います。

当院では外来・入院患者様のサポート体制を充実するべく、9月1日より相談窓口を設置しております。何か心配なことなどありましたら会計窓口隣までお問い合わせ下さい。

広報委員長 岡田裕也(医事課 介護支援専門員)